

# 岩盤ボーリング柱状図

調査名 二級河川 瀬野川水系 山王北川外 砂防激甚災害対策特別緊急事業に伴う業務委託

事業・工事名

調査目的及び調査対象 砂防 砂防

ボーリング名	No.4(山王北川)	調査位置	広島県広島市安芸区 中野東	北緯	34° 23' 37.0805"
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和3年 8月11日～ 令和3年 8月20日	東経	132° 34' 47.5436"
調査業者名	主任技師		現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	TP 93.22m	角	試錐機		東邦地下工機D-0型
総削孔長	7.00m	度	エンジン	ポンプ	東邦地下工機BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名 (楕円)	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) 最大コア長 (cm) R Q D [%]	記 事	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					室内試験	削孔状況	排水量 (L)				
														N 値	深さ	50回の貫入量	自沈時の貫入量	位置							
1	89.42	3.80	玉石・礫混り砂	茶							11 [ 1 ] (100)	玉石はφ100~200mm大のものを微量混入する。	8/20 0.55	1.18	10	300			600	0	0	0	0	0	
2	89.22	4.00	強風化花崗岩	茶灰	w4							礫はφ2~50mm大の亜角礫を微量~少量混入する。		1.48	10	300			458	0	0	0	0	0	
3			風化花崗岩	乳灰								細粒分を少量~多く混入する。		2.18	10	300			300	0	0	0	0	0	
4	88.22	5.00	花崗岩	灰	w3						16 [ 44 ] (100)	マサ状~角礫状コアとなる。指圧で砂質土状~角礫状に砕ける。角礫状~短柱状コアとなる。角礫状部はハンマー打撃で容易に砂質土状~角礫状に砕ける。短柱状部はハンマー打撃で岩片~短柱状に砕ける。割れ目は水平方向のものが数cm~110cm間隔で入る。		3.18	15	300			250	1	180	0	0	0	0
5											29 [ 5 ] (100)	片状~長柱状コアとなる。片状部はハンマー打撃で容易に角礫状に砕ける。長柱状部はハンマー強打で割れる程度。割れ目は水平~20°のものが数cm~30cm間隔に入る。		3.48	50	60			240	0	0	0	0	0	
6														4.08	50	30			225	2	60	0	0	0	
7	86.22	7.00												4.11	60			125	1	180	0	0	0	0	
8														5.00	50	30			121	0	0	0	0	0	
9														5.00	30			117	0	0	0	0	0	0	
10																		120	0	0	0	0	0	0	
11																		80	0	0	0	0	0	0	
12																		80	0	0	0	0	0	0	